

# 平成 30 年度事業報告

## I 運営概況

我が国の経済状況は、世界経済の緩やかな回復を背景に、企業収益が過去最高となる中で、雇用・所得環境が改善し、所得の増加が消費や投資の拡大につながるという「経済の好循環」が着実に回っているとされています。

この景気回復は「世界経済の同時回復」「企業部門の設備投資意欲の高まり」「雇用・所得環境の改善」の三つの推進力に支えられているとされています。企業の設備投資は、人出不足や新技術への対応などもあり増加を続け今後も我が国経済を牽引することが期待されていますが、世界経済については先進国、新興国ともに景況感がやや低下しており今後の動向については注視が必要であり、また、人出不足感の高まりによる負の影響や雇用のミスマッチなどには留意が必要とされています。

こうした中で、消費は持ち直しているものの、身近な物価の上昇もあって、高齢者世帯を中心に消費者マインドに弱さがみられるという指摘とともに、生産年齢人口の減少などを背景にエイジレスに働ける社会の実現に向けた環境整備が求められるなど、シルバー人材センターへの期待も感じられる年となりました。

当センターでは、平成30年度事業運営について「組織体としての体制の強化」「就業し易い環境づくりの推進」「事業の拡充と地域活性化の推進」という三つの基本方針を踏まえ、「会員の増員と組織力の強化」「適正な事業運営の推進による就業機会の拡充」「働き易い仕組みづくりの推進」「参加しやすい地域貢献活動の環境づくり」「健康や安全就業の推進と危機管理体制の強化」を五つの重点事業として定め計画的な取り組みを進めてまいりました。

また、平成29年度に就業機会の幅を広げるために参入した「シルバー人材センター労働者派遣事業」は、労働時間等の制約を抱えながらも徐々に浸透してきていますが、今後の事業拡大に向けては就業機会の開拓や人材の確保を進めるための活動のあり方などの検討が必要となっています。

センター事業を維持・拡大するうえで、最も基本となるのは就業可能な会員の確保・増員であることから様々な取り組みを進めましたが、高齢者を取り巻く雇用情勢の変化もあり、入会者の大幅な増員は困難な状況が続くとともに、会員の高齢化は着実に進行しています。

平成30年度は創立40周年記念事業として、記念式典の開催、記念誌発行、パネル展、「奈古味」での顧客還元40円カレーの提供、目黒区から施設管理を受託している老人いこいの家障子の張替え、のぼり旗の作成、当センター車両用マグネットシートの作成及び車両への貼付など、広く目黒区民の方々に感謝の意をお伝えするとともに当センターをアピールする取り組みを進めました。加えて、平成31年3月には目黒区老人クラブ連合会と連携し、メキシコオリンピック銀メダリスト君原健二氏の講演、「区老連」・「当センター」会員によるパネルディスカッション及びトキワ松学園吹奏楽部の演奏を内容とする“シニアの集い”を開催いたしました。当日は、当センター会員をはじめ、老人クラブのメンバー、

区民など多くの方にご参加いただき、地域高齢者の健康と生きがいがづくりの動機付けをする機会としました。

### (1) 組織運営

シルバー人材センター事業において会員の確保・増員は最優先事項となります。平成30年度は、当センターが都内センターの平均入会率を下回ることや、高齢者が働き手として求められるニーズへの迅速・円滑な対応など、事業の維持・拡大に向けた会員の増員施策として、会員増員強化月間の設定のほか、町会回覧や区報による周知、設立40周年記念事業での周知活動の展開、女性を対象とした入会説明会の開催、新聞折り込みチラシや自治体窓口封筒広告掲載などの会員増員策に取り組みました。加えて、女性会員担当部会をはじめ関連する委員会等で、多くの方に身近な存在としてもシルバー人材センターに興味をお持ちいただくことや理解を深めていただくための取り組みや、女性向けの視点も含めた入会説明会・入会研修会資料等について検討を重ねました。同時に事業の一環として、主に新しく入会される会員を対象とする体験就業について、関係機関とも連絡をとりながら検討しました。

平成29年度に情報伝達体制など組織力強化を目的に行った地域班区域の再編成が2年を経過し、各戸配布作業の円滑な実施に寄与するなど制度の定着が進んでいます。

当センターの運営に当たっては、「自主・自立」「共働・共助」の基本理念を根底に置き、センター事業の推進に向け、理事会及び各委員会と就業グループ及び地区・地域班が組織として連携して課題解決に取り組むことに努めるとともに、適正な業務執行を進めました。

### (2) 事業運営

平成30年度の契約金額は、対前年度比0.2%減の6億3,300万余となり、事業別の分類では、公共事業は目黒区の公園清掃関連業務及び自転車関連業務の契約金額の見直しや老人いこいの家管理業務の増などにより2.2%増、民間事業は企業及び独自事業が減となる一方で家庭は微増し、結果として1.6%減となりました。契約額全体の6割以上をカバーする民間事業の契約金額が昨年度と同様に減少する結果となり、「経済の好循環」を事業実績に反映することが困難な一年となりました。このように厳しい状況ながら大きなトピックスとして、目黒区との契約のうち、公園清掃関連業務及び自転車関連業務の契約金額の改正があり、実績増に繋げることができました。なお、労働者派遣事業に係る受託収益は堅調な伸びを示しています。

平成30年度は、「適正な事業運営の推進」、「就業機会の拡充」及び「働きやすい仕組みづくり」を主軸として事業を進めました。「適正な事業運営の推進」については、全就業グループを対象とした就業現場巡回及び単独就業会員へ状況確認や情報交換を目的としたヒアリングを行うとともに、労働者派遣契約と請負契約の違いを踏まえた業務内容等の整理及び適正化について継続的に検討を行いました。さらに、植木の手入れ作業の需要拡大に適切に対応するための体制整備について検討を進めました。

「就業機会の拡充」では、就業開拓チームによる新規就業開拓に向け、企業への訪問活動やPR活動を行うとともに就業開拓のあり方について検討を行いました。また、育児・家事援助サービスの拡充を図る観点から、会員増員に向け当職種に特化した入会説明会を開催いたしました。

「働きやすい仕組みづくりの推進」では、多くの会員が働くことのできる環境の整備に向け、会員の就業機会を増やし、就業し易い環境を作るための「会員の働き方再構築」ガイドをまとめ各就業グループでの取り組みを促すとともに、職種に関わらずシルバー人材センターでの働き方を体験する機会としての体験就業の具体的実行を計画いたしました。

センター事業を進めるうえで安全就業は、最優先事項となります。平成30年度のシルバー保険対象事故件数は18件（傷害事故8件、賠償事故10件）発生し、前年度比で2件減となりました。植木班では5件の事故が、育児・家事援助サービス班全体では3件の事故がそれぞれ発生し、同一就業グループで複数回の事故発生となりました。傷害事故では、自転車利用中及び歩行中の転倒などを原因とする事故が多く発生しました。賠償事故・傷害事故ともに、就業前・就業後の安全確認や交通安全を意識することで防止できるケースもありました。危機管理安全委員会においては事故再発防止に向け、他の委員会と協力しての現場巡回、自転車講習会や「危機管理安全委員会ニュース」の発行を行い安全就業の啓発に努めるとともに、上半期の事故多発を受けて10月に開催した緊急の委員会で取りまとめた再発防止の取り組みを計画的に進めました。また、安全な就業の確保に向け健康管理に関する情報提供や高齢会員に向けた健康講習会を開催し、事故再発防止にとどまらず、個々の会員による危機管理への意識向上を図りました。事故については、内容の調査及び原因究明のため、当事者から詳細にわたる聞き取り調査を行い、(財)東京しごと財団シルバー保険事業室と連携して積極的に事故の再発防止策を検討するとともに、関係した会員に対する安全指導を行いました。

### (3) 地域貢献活動

公益社団法人にとって地域貢献活動は重要な取り組みであり、多くの会員が参加可能な活動です。平成30年度の地域貢献活動のうち道路及び主要公園の清掃活動において、約6,100人（延べ人数）の参加者を記録しました。「入会説明会」及び「入会研修」において、地域貢献活動はセンター事業にとって大きな意義を持つことや活動内容について説明を行い、地域班が主体となる区内道路清掃活動及び主要公園清掃活動に関しては、参加方法や集合場所等を丁寧に周知するなど、参加を促し会員個々が積極的に行動したことの成果です。また、この全地域班が長年にわたり毎月行っている区内道路や主要公園での清掃活動が、区内の環境美化に大きく貢献したと評価され、目黒区の「エコ・チャレンジ顕彰」の被表彰者として2月に目黒区から表彰されました。あわせて、各地区地域班主体の地域イベント等への参加や高齢者福祉施設への訪問などを幅広く行い地域の活性化に貢献しました。さらに、昨年度に続き、目黒区の見守りネットワークの協力団体として見守り（高齢者・子ども・障がい者などを対象）を行い、安全な街づくりに協力しました。

## II 会員

平成30年度の入会会員数は131人（男性67人、女性64人）、退会者は138人（男性81人、女性57人）で、年度末会員数（平成31年3月31日現在の会員数）は1,295人（男性768人、女性527人）となりました。前年度同時期の会員数1,302人と比べ、7人減、0.5%の減となりました。

平成30年度の就業実人員（1年間に一度でも就業したことがある会員は1,163人（男性690人、女性473人）は、平成31年3月末の会員数の89.8%、前年度との比較では0.3ポイント増となりました。

平成31年3月末登録会員全体の平均年齢は75.4歳、男女別では男性75.6歳、女性75.0歳となり、前年度と比べ平均年齢は男性女性とも0.3歳上昇し、全体としては前年度より0.3歳上がり、会員全体の約52%強が75歳を超えています。最高年齢は男性が96歳、女性が95歳でした。

## III 事業実績

平成30年度の契約金額は633,759,073円となり、前年度の635,125,790円と比べ136万円余、0.2%の減となりました。契約金額のうち、民間事業は395,669,676円（前年度402,095,267円）で、前年度比640万円余、1.6%の減となりました。

内訳は、企業等からは204,418,291円（前年度比2.6%の減）、個人・家庭からが158,410,555円で対前年度比0.4%増、独自事業は32,840,830円（リフォーム事業6,536,390円、書道教室5,745,500円、学習教室1,525,000円、日本画教室1,910,000円、パソコン教室3,059,592円、着付け教室1,238,000円、飲食店「奈古味」11,854,848円、シニアの学校971,500円）となり、対前年度比4.4%減となりました。

民間事業のうち企業等からの受注は、適正就業の厳格化による契約終了や契約金額の見直しなどが主な原因で実績減となりましたが、個人・家庭からの受注は微増という結果となりました。また、植木の手入については、安全就業を最優先事項として受注し、作業件数は微減となったものの実績金額は5.1%増となりました。

独自事業においては、事業別に学習教室、パソコン教室が前年度に続き大幅減、書道教室4.4%減、日本画教室13.9%減、着付け教室7.5%増、飲食店「奈古味」は2.4%増、リフォーム事業8.7%増となりました。独自事業については、前年度に引き続きガイドラインに基づき各事業の継続の可否を検討し、一部に改善すべき課題がある事業はありますが、全8グループとも独自事業として継続という評価結果となりました。

公共事業は238,089,397円（前年度233,030,523円）で、前年度比2.2%増となりました。これは、目黒区からの新規受託契約（田道・油面老人いこいの家）に加え公園清掃関連及び自転車関連事業の契約単価引き上げが主な原因となっています。平成30年度は大規模な単発業務の受注はありませんでした。

主な職群別での実績内訳は、一般作業群(除草作業など)198,517,788円(全体の31.3%)、管理群(駐輪場管理など)169,162,333円(同26.7%)、技能群(植木など)93,943,291円余(同14.8%)、サービス群(家事援助サービスなど)67,092,704円(同10.6%)となりました。

平成30年度における公共事業及び民間事業の収入割合の比率は、37.6%:62.4%で、前年度比で公共0.9ポイント増、民間0.9ポイント減となりました。

また、労働者派遣事業等受託費収入は1,143,739円(前年度437,672円)となり、前年度比で161.3%増となりました。

## IV 事業計画の実施状況

### (1) 会員の増員(定款第4条第1号及び第4号事業)

- ① 設立40周年を記念した各種事業を実施し、それに合わせたセンター事業の普及啓発活動に努めました。
- ② 会員増員強化月間及び女性向け入会説明会など会員増強に取り組みました。
- ③ 入会説明会や入会研修会の内容及び資料の見直しを行いました。
- ④ めぐる区報、新聞折り込みチラシ、自治体窓口封筒への広告掲載、町会回覧板などを活用した会員募集及びセンター事業のPRを行いました。

### (2) 組織力の強化(定款第4条第5号事業)

- ① センターニュースを見やすく分かりやすくするための改善を検討し実施するとともに、ホームページのリニューアルに関する検討を進めました。
- ② 「会員の手引き」の4月下旬発行に向けて作業を進めています。
- ③ 地域班長会を年2回(4月・10月)開催し、地域班活動の活性化を支援しました。
- ④ 入会1年目会員を対象とした研修会を3回開催し、合計84名の出席がありました。
- ⑤ 役員経験者から意見を聴く「参与会議」を年2回実施しました。

### (3) 適正な事業運営の推進(定款第4条第2号及び第5号事業)

- ① 就業グループリーダー会議を年2回(4月・10月)開催し、適正な事業運営の推進に向けた討議などを行いました。
- ② 就業グループにおける年間活動計画、就業予定表の作成及び適正就業の推進活動を支援しました。
- ③ 全理事が分担して全ての就業現場を巡回し、就業グループ活動の活性化、就業の適正化、安全就業の徹底など、各委員会活動の視点を総合した横断的な点検を実施しました。
- ④ 単独就業会員との連絡・情報交換の機会を設け、就業状況等のバックアップ体制の整備について検討しました。
- ⑤ シルバー派遣事業の推進にあたり、派遣就業を希望する会員に対する説明会を開催し事業への参加を促進しました。

- ⑥ 業務で使用する作業器具の点検、補充、交換等を適宜実施しました。
- (4) 就業機会の拡充（定款第4条第1号及び第4号事業）
- ① 就業開拓チームによる、企業向けのPR活動や新規就業開拓に向けた活動を行うとともに、就業開拓の進め方などについて検討しました。
  - ② 就業情報の提供方法について、センターニュースやホームページ、事務局掲示板等の様々な媒体の活用による迅速化や会員と就業のマッチング機能の強化について検討しました。
  - ③ 育児・家事援助サービス事業の拡充を図り、特に女性を対象とした研修会を継続的に実施いたしました。
  - ④ 目黒区からの受託事業「地域交流サロン・会食サービス事業」の実施にあたり、拠点として活用するセンター独自事業「奈古味」の活動を支援いたしました。
  - ⑤ 植木剪定作業の需要拡大に適切に対応するため植木班の業務執行体制の整備について検討しました。
  - ⑥ 目黒区や各種公共機関と連携し情報収集やPR活動を推進しました。
  - ⑦ 新たな独自事業の開発の観点から40周年記念事業の一環として、「新規事業アイデア提案」を募集し、審査の結果優秀提案4件を選定し、事業化に向けた検討を支援しました。
- (5) 働きやすい仕組みづくり（定款第4条第1号及び第5号事業）
- ① 就業しやすく、かつ、できるだけ長く就業を続けるための「会員の働き方ガイド」をまとめ、各就業グループに対してガイドの適用に向けた概略計画の立案や実施のための仕組みづくりを依頼しました。
  - ② 会員に対し職種ごとの就業内容を解説する案内書の作成について検討しました。
  - ③ 新入会員の入会直後の研修の一環として就業体験の実施について検討しました。
- (6) 適正就業の推進（定款第4条第2号及び第5号事業）
- ① 就業グループ巡回により指揮命令の有無や仕様書・就業マニュアルの確認などを行い、会員の適正な就業を確保しました。
  - ② 就業期間の設定について、会員の就業機会の公平化や、業務内容の変化・発注者の需要を踏まえた見直しの必要性について検討しました。
  - ③ 就業期間制限職種の就業者募集を年2回実施する制度の導入を検討した結果、発注者との調整や就業現場への負担など種々の課題があることから制度の導入を見送ることとしました。
  - ④ 就業グループ巡回により内規の整備と定期的な見直しなどについて確認し、適正なグループ活動を支援いたしました。
  - ⑤ 不適正な行為を行う会員に対して規程に基づく公正な措置を講じる体制を整備していますが、制度の対象となる行為の発生はありませんでした。
- (7) 地区地域班による参加しやすい地域貢献活動の環境づくり（定款第4条第3号事業）
- ① 地区担当理事が中心となり地域貢献活動を通じた地域班の活性化を支援しました。

- ② 地域貢献活動の活動内容や参加状況を周知いたしました。
- ③ 道路・公園清掃活動について、参加方法や集合場所について分かり易く周知しました。
- ④ 福祉施設ボランティアの参加会員の募集や後継者の育成について検討し、施設見学や施設との打ち合わせを行いました。
- ⑤ 地域イベント（住区まつり等）への参加を推進し、地域班や就業グループの活動を支援いたしました。
- ⑥ 区内小学校防犯教育教室へ支援参加し就業に結び付けました。
- ⑦ 目黒区見守りネットワーク「見守りめぐねっと」の協力団体としての取組について周知いたしました。

(8) 健康と安全就業の推進とともに組織運営上の危機管理体制強化（第4条 第5号事業）

- ① 発生した事故について、事故の概要や原因、事故防止策等について周知し、事故の未然防止に関する知識の共有と安全意識の啓発を図りました。
- ② 各就業グループやセンター運営上で想定される危機管理対象事項について、課題解決に向け危険予知プログラムの導入による取組みを推進しました。
- ③ 危機を想定した緊急時対応模擬訓練を年2回実施しました。
- ④ （財）東京しごと財団の安全就業パトロール指導員と協力した安全就業パトロール（就業現場巡回）を実施しました。
- ⑤ 安全支援員の活動計画策定の促進とその支援を行いました。
- ⑥ 危機管理安全委員会ニュースを定期的に発行しました。
- ⑦ 自転車交通安全講習、高齢者の認知症予防研修、運動機能向上研修など、健康維持・事故防止を目的とした各種の研修・講習会を実施しました。
- ⑧ 会員の健康診断受診を促進し受診状況を確認しました。
- ⑨ 必要な就業現場について救急箱の点検と医薬品等の補充を行いました。

## V 諸会議の開催概況

### (1) 定時総会

回数	開催日	主な内容
1	平成30年 6月1日	1 会場 めぐるパーシモンホール 2 会員出席状況 会員数 1,286人 出席者数 368人 委任状 651人 計 1,019人 3 議題 (1) 平成29年度決算承認の件 (2) 理事1名の選任の件 <報告事項> 平成29年度事業報告 平成30年度事業計画 平成30年度収支予算

### (2) 創立40周年記念式典

回数	開催日	主な内容
1	平成30年 6月1日	1 会場 めぐるパーシモンホール 2 第8回定時総会終了後に開催 3 式典内容 (1) 目黒区長祝辞 (2) 東京しごと財団理事長祝辞 (3) 講演 (昭和大学医学部講師 政岡ゆり氏) (4) 抽選会



## (3) 理事会

回数	開催日	主な内容
1	平成 30 年 4 月 25 日	1 会員の入会について 2 平成 29 年度事業報告について 3 平成 29 年度決算報告について 4 会長、副会長、常務理事の職務執行状況報告 5 規程の改正について 6 平成 30 年度会員表彰について
2	平成 30 年 5 月 23 日	1 剰余金の使途について 2 40 周年記念式典について 3 目黒区長との懇談会について
3	平成 30 年 6 月 1 日	1 会員の入会について 2 常務理事の選任について
4	平成 30 年 6 月 27 日	1 会員の入会について 2 剰余金の使途について 3 目黒区長との懇談会について
5	平成 30 年 7 月 25 日	1 会員の入会について 2 広報部会設置要綱の制定について
6	平成 30 年 8 月 22 日	1 会員の入会について 2 公益社団法人目黒区シルバー人材センター後援名義使用承認 事務取扱要綱の制定について 3 平成 30 年度第 1 次補正予算について
7	平成 30 年 9 月 26 日	1 会員の入会について 2 規程の改正について 3 公共受託事業配分金額の一部改定について
8	平成 30 年 10 月 24 日	1 会員の入会について 2 平成 30 年度上期会長・副会長・常務理事の職務執行状況の報告 について
9	平成 30 年 11 月 28 日	1 会員の入会について 2 規程の改正について
10	平成 30 年 12 月 26 日	1 会員の入会について 2 規程の改正について 3 理事・監事候補者の選任について 4 平成 31 年度事業収入見込について
11	平成 31 年 1 月 23 日	1 会員の入会について 2 規程の改正について

12	平成 31 年 2 月 27 日	1 会員の入会について 2 平成 31 年度事業計画について 3 平成 31 年度予算について 4 資金調達及び設備投資の見込みについて
13	平成 31 年 3 月 27 日	1 会員の入会について 2 平成 30 年度第 2 次補正予算について 3 役員候補者の推薦について 4 規程の改正について 5 第 9 回社員定時総会の招集について 6 貸倒引当金処理について

(4) 運営委員会 (12 回)

(5) 委員会・部会

- ア 総務委員会 (7 回)
- イ 事業運営委員会 (10 回)
- ウ 地域貢献推進委員会 (7 回)
- エ 危機管理安全委員会 (8 回)
- オ 就業適正化委員会 (9 回)
- カ 広報部会 (12 回)
- キ 地区担当部会 (4 回)
- ク 女性会員担当部会 (4 回)

(6) その他の会議

- ア 参与会議 (2 回)
- イ 地域班長会議 (2 回)
- ウ 就業グループリーダー会議 (2 回)
- エ 安全支援員会議 (2 回)

VI 平成30年度地域貢献実施事業報告

種別	名称	日時	場所	内容	参加人数	主催団体等	参加地域班・就業グループ等
主催	1 道路清掃活動	①毎月1日 ②第1土曜日 ③第1日曜日 ④毎月7日	目黒区内幹線道路沿いの歩道(除く:12月)	清掃活動	5,562	MSJC	全地域班
	2 施設ボランティア	毎月第1火曜日(5,8,1月は休み)	東山特養ホーム	コーラス・民謡・手品等	72		有志
	3 盆踊り	H30.8.22 H30.8.23	東が丘特養ホーム 東山特養ホーム	盆踊り隊の訪問	8 11	MSJC(各施設からの要請)	有志
	4 区内主要公園清掃活動	H30.12.2	区内大規模公園	清掃活動	579	MSJC	全地域班
	5 目黒川清掃活動(40周年)中央地区地域班	H30.10.15~H31.3.15 毎月の毎月15日	中目黒日の出橋~柳橋	目黒川沿道(緑道)部分の清掃	91	MSJC(中央地区地域班)	中央地区地域班
	6 凧作り	H.31.1.26	原町小学校	凧作りの指導	10	南部地区	南部地区
	7 区さくら基金への会員募金活動	H30.1月~5月	21地域班	会員によるさくら基金募金活動		MSJC	有志
協賛	目黒川クリーンアップ大作戦	H30.7.6 H30.12.7 H31.3.10	目黒川沿道	目黒川沿道(緑道)部分の清掃	3 12 7		事務局、理事参加 第2回から東部地区地域班参加
	9 散歩クラブボランティア	毎月第1、第2金曜日	東が丘特養ホーム	ホーム利用者の散歩クラブで、準備や添削等の手伝い。	毎回3~4名	東が丘特養ホーム	筆耕班
	10 エコまつりめぐる2018	H30.6.10	田道ふれあい館 田道広場公園	エコ緑日の割箸鉄砲	3	エコまつり エコライフめぐる推進協会	田道班2名、上目黒班1名参加
	11 ア保育園での浴衣着付ボランティア	H30.7.6	区内保育園 3か所	保育園の夏祭の浴衣の着付け	7	区内保育園	着付け班
	12 第15回パーシモンほたる祭り	H30.7.8	めぐる区民キャンパス	パーシモンアート、ヨーヨー遊び(600人)	10	パーシモンほたる祭り実行委員会	八雲・中根地域班が参加
	13 第22回八雲の夏まつり	H30.7.14~15	八雲小学校	金魚すくい、ヨーヨー遊び、パーシモンアート(1640人)	20	八雲の夏まつり実行委員会	八雲・中根地域班が参加
14 神文谷公園盆踊り運営補助	H30.7.27 &(28・雨天中止)	神文谷公園	自転車整理補助、模擬店運営補助	6	鷹番住区住民会議	鷹番地域班	

15	向原小学校盆おどり	H30.8.4	向原小学校	盆踊り	16	向原住区住民会議	向原地域班
16	目黒区民まつり	H30.9.16	田道ひろば 田道ふれあい館	休憩コーナー、日本画塗り絵 体験等	53	目黒区民まつり実行委員会	地域貢献推進委員会委員、独自事業グループ有志会員、事務局
17	こまばのまつり (屋外中止)	H.30.10.1	駒場野公園	センターPR、水鉄砲	ー	こまばのまつり実行委員会	駒場班が参加
18	第42回おまつり広場 みやま え	H30.10.14	宮前小学校	バルーンアート製作・模型機 関車運転	8	自由が丘住区住民会議	自由が丘班と有志の会員
19	東山貝塚祭り (中止)	H30.10.21	東山公園	コーラス、センターPR	ー	東山貝塚まつり実行委員会	菅刈・東山班・烏森班の会員とコー スの有志
20	なかねファミリーフェスティバ ル	H30.10.28	中根住区センター /中根小体育館	①会場整理 ②バルーンアート	18	なかねファミリーフェスティバル 実行委員会	中根・大岡山班が参加
21	第19回八雲ワイワイまつり	H30.11.11	八雲住区センター	バルーンアート、ヨーヨー遊 び (280人) 写真撮影とパソコンじゃん けんポン	17	八雲ワイワイまつり実行委員会	八雲地域班他が参加
22	東根住区まつり	H30.11.18	東根住区センター	展示作品揭示パネルの出し 入れ手伝い	15	ー	パソコン班が参加
23	統一美化デー	H30.11.23	自由が丘幹線道路	清掃活動	1	東根住区まつり実行委員会	東根地域班班長
24	災害時のサバイバル料理講習会	H30.12.21 H31.1.18	青少年プラザ	(12.21 参加者 31名)(1.18 参加者 30名)	25	自由が丘住区住民会議 商店街振興組合	自由が丘班が参加
26	東山小学校クリスマスコンサート	H30.12.23	東山小学校	コーラス	8	主催：目黒女性団体連合会 共催：目黒区 後援：MSJC 地域貢献推進委員会	向原地域班
26	西部地区スポーツ大会	H31.2.3	八雲体育館	誘導支援・競技運営支援	17	東山小学校	菅刈・東山班、烏森班
27	東京マラソンボランティア	H31.3.8	三田ツインビル西館 前	観客誘導・整理	5	西部地区スポーツ大会実行委員会	西部地区各地域班
28	目黒区見守りネットワーク	通年	ー	ー	12	東京しごと財団	各地区より2~3名・事務局参加
後援	ー	ー	目黒区	協力団体として登録	目黒区	目黒区	協力団体として登録

## VII 創立 40 周年関連実施事業報告

項目数	実施日	事業名	内容
1	通年	“創立 40 周年” 記念のスローガンによる公報 「創立 40 周年 地域と共に」	1 センター公用車へ「スローガン」ステッカー 2 「スローガン」40 周年記念のぼり旗の作成と活用（清掃活、イベント実施、地域協賛事業参加）
2	平成 30 年 1 月～5 月	「目黒のさくら基金」 会員有志による募金活動	会員有志による募金 募金額 214,640 円
3	平成 30 年 3 月～5 月	就業グループ（襖班）による区施設の障子を無償張替	当センターが管理を受託している 7 か所の「老人いこいの家」の障子を無償で張替え
4	平成 30 年 5 月・10 月	センター紹介パネル展	5 月 目黒区役所西口ロビー 10 月 目黒本町社会教育館ロビー
5	平成 30 年 5 月 28 日	独自事業「奈古味」に「よる地域の皆様への感謝デー	5 月 28 日 創立 40 周年にちなみ「40 円カレー」の販売、コーヒーを無料で提供 6 月 4 日 当日利用されたかたへのコーヒー無料提供
6	平成 30 年 6 月 1 日	創立 40 周年記念誌発行	創立 40 周年記念誌 ～地域と共にこれからも～の発行
7	平成 30 年 6 月 1 日	創立 40 周年記念式典	1 来賓祝辞、講演（昭和大学医学部講師 政岡ゆり氏） 2 最高齢、最長会員歴会員表彰 3 抽選会
8	平成 30 年 8 月～9 月	新規事業の提案募集	創立 40 周年を記念し会員からの優秀提案の事業支援

9	平成 31 年 3 月 16 日	シニアの集い	センターと目黒区老人クラブ 連合会の共同イベント 1 講演（メキシコオリンピック 銀メダリスト 君原健二 氏） 2 パネルディスカッション（藤 井敬三コーディネーター及 びパネラー4 名【老人クラブ 2 名、シルバー人材センター2 名】） 3 吹奏楽演奏（トキワ松学園中 学校高等学校吹奏楽部）
10	平成 30 年 10 月～31 年 3 月	創立 40 周年を記念した地 域班の自主的地域貢献活 動	中央地区地域班による目黒川 沿い清掃活動

## VIII 附属明細書

平成 30 年度事業報告に、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の附属明細書」として記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。